



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:0593-31-1670
 ☎:0593-32-0733

掲示板法話

人は去っても

拝む私の手の中に還ってくる



連れ合いを亡くされたご主人が満中陰法要の時、「これから家内が仏さまの国へ往くと思うと、淋しくなります」と言われます。これは、四十九日までの中陰という期間中この世に魂が残るが、四十九日に行き先が決まり、追善供養により、仏さまの国に生まれ変わるといふ俗説の影響ですね。

そこで、「いえいえ、あなたの奥さんは仏さまの願いにより既にお浄土に仏さまとして生まれ変わっておられます。仏さまとなられた奥さんはお浄土に留まっておられず、お念仏申すあなたの所へ南無阿彌陀仏の仏さまとなつてきてくださるのですよ」とお話しさせて頂いた上で、「あなたにぴったりの詩をプレゼントしましょう」と次のような詩をご披露しました。

人は去っても
 その人の微笑みは去らない
 人は去っても
 その人の温もりは去らない
 人は去っても
 その人の言葉は去らない
 人は去っても
 拝む私の手の中に還ってくる

これは先年往生された中西智海先生の詠まれた詩ですが、大切な人と別れても生前共にした笑顔や温かい言葉は心の中に刻み込まれています。何よりも手を合わせてお念仏申させて頂く時、亡き人が南無阿彌陀仏という言葉の仏さまとなつて懐かしいあなたの胸の中に飛び込んできてくださるとのお味わいです。

お勤めの後の御主人のご挨拶に感動しました。

「亡くなった家内は遠いお浄土に往つてしまつたと思つていましたが、ごえんさんがお念仏申せば、私の所へ還つてきてくれると言われましたので、嬉しくなりました。これから独り暮らしの寂しさを感じる毎日とは思いますが、お仏壇の前でお念仏唱えながら、精いっぱい元気に生かされていきたいと思ひます。それが仏となつた家内が一番喜んでくれる道だろうと思ひます」と心を込めてお礼の言葉を述べられました。ご挨拶に聞き入っていた親戚の人たちも涙をぬぐいつつ、お念仏されました。

写真アラカルト



「南無阿彌陀仏をとらふれば十方無量の諸仏は、百重千重圍繞してよろこびまもりたまふなり」という親鸞聖人の現世利益和讃に詠まれた情景が、今ここに現れているような感動を覚えます。お念仏申す中でこそ還相の仏さまに会うことができるのです。

☆行事ご案内☆

春季永代経 お経開き3月19日(土)午前10時半

3月19(土)午後1時半 夜の法座は無し

20(日)午後1時半

講師：加藤学尚先生(桑名、初)

◇絵手紙教室 3月8日(火)午前10時 庫裏食堂7回目

◇キッズサンガ 3/5(土)4時。鐘つきは毎夕5時年中無休

◇三重組コーラス3/3(木)午後 西勝寺様で練習、

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設7年7か月で19万8千訪問、一日約80訪問以上、悩み相談、大歓迎！即返信

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話
 新刊法話集『たつた一つの道』(自照社、800円+税)発行

(※大遠忌法要までの予定表)

5/7(土)午後、役稚児さん、献華献灯者の練習

5/8(日)門徒総出の準備作業、掛け出し、掃除等、

5/14(土)夕方役稚児・音楽法要、関係者最終打ち合わせ、
親鸞聖人750回大遠忌法要平成28年5月15日(日)午後

(緊急大募集)お稚児さん、献華献灯者大募集!

◇三全仏教婦人会総会：3月20日夜7時より光念寺様にて

◇4月16日(土)午後1時「初参式」赤ちゃん募集!千円

◇新納骨堂：後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

坊守スケッチ

家族再生の鍵



昨今の悲惨な事件を見る度に心が痛む。「親の顔が見てみたい。一体どんな育ち方をしたのか?」と思うのは私だけか?いくら注意を促しても高齢者を狙った振り込め詐欺は後を絶たない。孫や息子の声を聞えない程、家族との関係が疎遠なのが原因。

離れて住む子供は、スマホで他人とは繋がるが、老親とははめつたに言葉を交わさない。老親を思いやる余裕さえない。昔のような一家団欒は、正月と盆だけの風景か?会社に振り回されて家族がバラバラに住む時代、弱い立場の子供や老親が犠牲になり、不満の声もあげず、じっと耐えるだけ。

誰もが幸せ実感が得られず、果たして家族再生の鍵はどこにあるのか?ある仏壇屋さんが「最近仏壇がさっぱり売れません」と嘆いていた。古い仏壇がある家でさえも、法事や日常のお参りは怠りがちの多忙生活。

日本香堂が実施した尾木直樹監修『仏壇参りと子供の優しさの関係性』という興味深い調査がある。A毎日仏壇にお参りする、B時々、C全くしない、3グループに分けた。誰かに悩みを打ち明けられるかの質問に、AとCの差は15パーセント。また困った人がい、たら寄り添いたいかの質問にも、10パーセントの差があった。仏壇参りをする家庭では、他人を思いやる優しさが、子供心に培われる実証

だ。お仏壇に手を合わせることで、感謝の気持ちが増幅され、見えないものへの畏敬の念が育つ。こういう情操教育こそ、現代人が大切にしなければならぬものではないか?

「昔はこんなことしたらご先祖様に申し訳ない。親の顔に泥を塗る」と、家族の絆が悪へのブレーキになっていた。しかし今は自由気ままな個人主義が横行し、何をしても恥ずかしくない利己主義へと変わった。

今一度お仏壇を中心にした家族再生を試みようではないか?合掌できる子供を増やして、共に明るい未来を築きたい。

◇献華・献灯者(女性)募集。5/15のご法要始まる前にお花や灯明をお供えする儀式。衣装は白ブラウス・黒ロングスカート、式章。5/7(土)夕方前日の夕方練習します。

◇役稚児さん募集!ご法要当日、本堂内陣で簡単な作法をします。5/7午後と前日午後練習します。小学生程度。◇三全仏教婦人会主催「初参式」の赤ちゃん・幼児を大募集中4月16日(土)午後1時より善正寺にて。

お稚児さんのか月前ですが合わせしてお申込み下さい。参加費千円。

お稚児さん大募集!親孝聖人750回忌法要の御稚児さん大募集!参加費5千円。あと2か月、大変困っています。ご協力下さい。

☆若院夫婦の「育自な毎日」その17

昨年春、幼稚園に入園した長男亮爾は、三月に四歳の誕生日を迎えます。四月からは年中さんに進級します。相変わらず同年齢の中では小柄で、背の順では前から二番目から三番目です。園では毎月、身長・体重を測定するの小さな成長を喜ぶことができます。体力も随分備わってきたようです。朝の一時間ほどは園庭で走り回り、帰宅後も境内で鐘撞きに来たお友達と寒風の中、元気に遊んでいます。以前は、鼻水を出せば咳をしてこじらせていました。耳鼻科で「副鼻腔炎ですから何度か通院して下さい。」と言われました。しかし油断は禁物!今はインフルエンザが流行!どうか菌をもらってこないようにと願うばかりです。

最近、ひらがなを読めるようになりました。書道教室の子供達に交じって、長男も一人前に机の前に座って、自分やお友達の名前を紙に書いています。「母ちゃん、見て、ハナマルして!」と持ってきてきます。最初はぐちゃぐちゃだった字形も、次第に読めるようになってきました。でもすぐに飽きて、外へ飛び出して境内でお友達と遊んでいます。もうすぐ四歳ですが、これからも成長を楽しみにして見守っていきたいと思います。(J&Y)



ホットニュース

◇関西在住の寺報愛読者様より手袋・帽子・マフラー等多数ご惠送。今回で二度目。稚児申込者、鐘撞きの子、その他希望者にプレゼントします。

★平成28年度・前半の善正寺行事

- 3/19(土)・20(日)『春季永代経』(加藤学尚師・桑名)
- 4/16(土)午後・三全仏婦主催『初参式&降誕会』(加藤幸子師・津)
- ※5/7(土)午後役稚児他練習
- ※5/8(日)午後、法要準備全員
- ※5/14(土)夕方役稚児等練習
- 5/15(日)『親鸞聖人七五〇回大遠忌法要』午後一時稚児行列、音楽法要、講演(河内美舟先生・山口県)
- 5/29(日)午前 門信徒会総会
- お悔やみ申し上げます
- ★岩花登美子様(85歳・1月24日亡・四日市)
- ★木田義弘様(63歳・1月24日亡・四日市)

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第267号をお届け致します。◇早めに編集・作成の「2月号」で「暖冬云々」と書いたら大雪。世の中は予測通りに行かないという典型でお恥ずかしい次第です。◇「お坊さん便」なる派遣サーブスが出現、市場経済化がここまで来たか、と驚かされる。◇だからこそ、寺の質的充実、「本物かどうか」が問われる。◇5月の大遠忌法要目前、ご支援ご協力を。

三月は別れと旅立ちの月です。通い慣れた学び舎を卒業し、新たな門出へスタートする人々は、希望に胸膨らませていくことだろう。これからも新しい出会いを求めて、人生行路の荒波を逞しく乗り越えて下さい。女優の山本陽子さんは四十年前の同隣の芝生というドラマで、始役の沢村貞子さんと共演しました。大先輩の沢村さんかウシワを生かせる女優におなりなさいという言葉を掛けられ、息の長い女優人生の目標になりました。また悩み苦しんでいる時に心の師と仰ぐ宇野千代さんから「今あなたの上に現われている能力は氷山の一角、真の能力は水中深く深く隠されている」という言葉を贈られ、自信と勇気を取り戻しました。ベテラン女優であつても、スタジオに入る時にはセリフは全て頭に入っているという謙虚さや忘れません。人間誰しも今恵まれている健康や若さが永遠に続きません。共に等しく老いを迎え必ずお浄土に還る日が来ます。彼女は二人の大先輩の言葉に目覚め、歳相応に自然体で生きる術を身につけました。私達も出会う人々の言葉に真摯に耳を傾け、自分の中に取り入れる工夫をしましょう。たつた一言でも受け取り方によつては、心の杖になることもあれば、相手を深く傷つける刃になることもあります。一言の重みを敏感にキャッチする「心の鏡」を、今後も聴聞にようして磨きましよう。750回大遠忌法要まであと2ヶ月半。稚児募集も、献華献灯者募集もまだです。皆様の協力もろくお願ひ申し上げます。合掌

平成二十八年三月

善正寺坊守 拝